

読売新聞 8月30日掲載分 高垣真路の TeeBreak

「方向指示器」

プロゴルファーはクラブを二本用意してボールの所へ行った場合、使わない一本は、自分から見える所には決して置きません。アドレス体勢の背後（背中側）に置きます。なぜなら自分の持ち物の向きをたよりに、アドレスの方向を調整するルール違反（2打罰）に抵触するからです。

しかしアマチュアのセルフプレーでは、逆に正面（顔側）に見えるように置いてください。道具の置き忘れを防ぐために、コンペでもなければ臨機応変にやりましょう。「クラブを置いてきた！」



このコーナーは西の森ゴルフパークの提供による、契約プロ・高垣真路プロのコラムです。



「そこになんでティーがあるの？」

という失態が「探してくる！」となつたとき、同伴者は大変困惑（友情か非情）するからです。ゴルフ業界では一目置かれる役職の、その方のティーアップ方法は、ティーの先で地面に目標方向から手前にスジをサツと引き（ペナルティーです）、そのスジの上でティーを刺すんです。ため息が出ました。

（PGAティーチングプロA級）

毎週月曜日・金曜日 ※祝日は除きます。

サーピス DAY

個人レッスン・各種ゴルフ教室

西の森ゴルフパーク 宇都宮市 駒生町1780-1

西の森ゴルフ 検索 ☎028-652-3344

この「高垣真路の TeeBreak」は、「読売新聞栃木版」に
毎月最終金曜日に掲載されています。